

2020年11月12日

各位

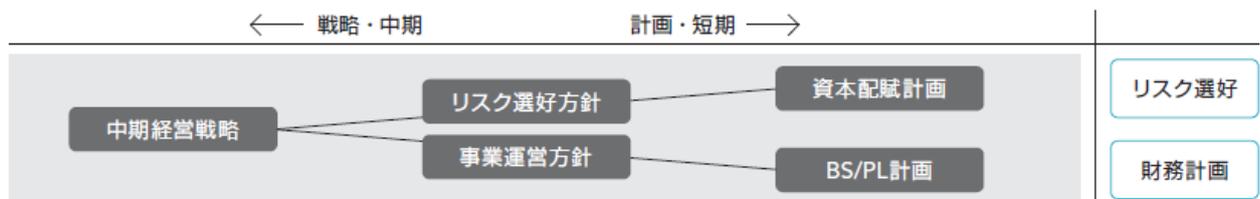
株式会社新生銀行

2020年度「新生銀行グループ リスク選好方針」の公表について

新生銀行グループは、グループのリスク選好の明確化と社員の共通理解の醸成を図ることを目的として、グループのリスク選好方針を策定しています。今般、本日の2020年度通期業績予想の開示に合わせて、2020年度の「新生銀行グループ リスク選好方針」(以下、「本リスク選好方針」)の要約版を公表します。

新生銀行グループでは、リスクガバナンスの観点から、特にリスク選好に基づく適切な業務執行のための体制整備に力を入れ、リスク選好と財務計画の整合性を基礎とする統合的な経営管理フレームワーク(リスクアパタイトフレームワークに相当、以下「本フレームワーク」)を構築・運用しています。本フレームワークでは、リスク選好と財務計画の整合的な関係により、適切なリスクテイクが期待通りのリターンを生み、財務指標の改善につながる関係を目指しています。

■ リスク選好と財務計画の関係の概念図



また、本リスク選好方針(リスクアパタイト・ステートメント ※に相当)は、本フレームワークをもとに、新生銀行グループにおけるビジネスライン別のリスクテイクのあり方を文書化することでリスク選好を明確化したものです。経営トップからグループ従業員向けのレターをイメージしています。

新生銀行グループでは、COVID-19の影響によるかつてない環境を踏まえ、適切なリスク選好を実施しながら社会的責務を果たし、ニューノーマルへの対応を進めていきます。本リスク選好方針の継続的な見直しを含むリスクガバナンスの高度化を通じて、企業価値の向上と社会課題解決に向けたESG/SDGs経営の推進を行っていきます。

2020年度「新生銀行グループ リスク選好方針」(要約版)の詳細は、以下リンク先をご参照ください。

https://www.shinseibank.com/corporate/risk/pdf/ras_2020_j.pdf

※ リスクアパタイト・ステートメントとは、銀行が進んで受け入れるべきリスクについて正式かつ明確に表現したものの。

以上